平成 30 年 4 月 20 日

春の平尾台でオキナグサとヒトリシズカに出会おう！

雲一つない晴天の平尾台で朝日カルチャーの受講生１４名と一緒に不動山から茶ヶ床園地経由で四方台近辺までトレッキングしました。自然観察センターの駐車場にバスが到着するや否やそばの桜の木からヤマガラが「ツーツーピー」の鳴き声で迎えてくれ、幸先の良いスタートを切ることができました。

平尾台へ通じる畑の畦に咲くヒメオドリコソウ、オランダミミナグサ、ホトケノザ、オオイヌノフグリなどを観察しながら平尾台へ。平尾台へ入ると雲一つない青空から皿倉山、英彦山、福智山、香春岳などを眺めながら平尾台の雄大さに改めて感激しました。途中、受講生の一人から「グライダーが飛んでいる」と大きな声が発せられ、皆、青空に目を向けると、風もほどよく吹いていたこともあり、色とりどりのグライダーが空をゆったりと飛んでいました。足元に目を移すとホタルカズラ、キジムシロ、ツチグリ、ニオイタチツボスミレ、センボンヤリなどの草原の春の野の花が咲き乱れていて、あちこちから歓声とシャッターの音が聞こえてきました。大きな羊に似た石灰岩の日陰に咲くヒトリシズカは既に花の時期を終え実となっていましたが、その可憐さに心を奪われながら、野見山氏からの静御前の話に耳を傾けていました。

平尾台の素晴らしさに酔いしれたため、昼食が始まったのは１２時４０分。少し昼食時間を短縮しようとしたところ「お昼はゆっくり食べたい」との大きな声が聞こえ、３０分としましたが、昼食時間にもホオジロがすぐそばまで来て、昼食時も大忙しでした。

午後からは本格的なトレッキングでオキナグサが咲き乱れる四方台近辺まで登山。少し厳しい急坂もあったので、２人が少し手前で待機しましたが、残りの受講生は小さな石に囲まれたオキナグサの群落を前に野見山氏から古代の和歌の説明を受け下山しました。

別れの際、「草原の緑に浮かぶ真っ青なホタルカズラはまるでホタルのようだった」との感想をもらい、我々も楽しい一日となりました。

（スタッフ：野見山、中村）